再 評 価 調 書

I 事業概要												
事	業名	砂防等事業(通常砂防事業)										
地	区名	3 名 キタノ入沢										
事	業箇所	とょたしひがしおおぬまちょうちない 豊田市東大沼町地内										
_	業のあ らまし	8 戸及び一般県道大沼足助線を 砂防堰堤を整備し、土砂災害対										
事												
				事前評価時 (2017 年度)	再評価時 (2023 年度)	変動要因の分析						
		事業期間		2018 年度~2023 年度	2018 年度~2027 年度	用地買収の難航						
		事業費(億円)		2. 5	4. 8	精査によるもの						
計画変更		ᄱᅖ	工事費	2. 2	4. 5	精査によるもの						
0	D推移	経費 内訳	田補告	0. 1	0. 1							
		内部	その他	0. 2	0. 2							
		事業内容		砂防堰堤工1基 渓流保全工37m	砂防堰堤工1基	精査によるもの						
П	評価											
①事業の必要性の変化	【再評価時の			を土石流から保護する必要がある。 の状況】 に変化はない。								
	判定	A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合に 手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。										
		【理由】 事業着手から必要性について変化はないため										

	1/ 发 址 址	7亩************************************	あひょく 中継】											
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状	事表計	画及び実績】 	2050	0010	0000	0001	0000	0000	0001	0005	0000	0007	A = 1
	況			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計
		工種	調査・設計 用地補償	•	_					-				-
		区分	工事	-						1				
		(A)	<u>・</u> 堰堤エ	-							-			
			前回計画			2.0			0.5					2.5
		事業費	実績			0.2								0.2
		(億円)	0.2			4.6 4.8								
		【進捗率】												
			これまでの計画に対する達成状況			状況	全体進捗率							
				計画	i I	実績		達成率	(%)		計画	達	成率((%)
					1	[2]		[2-	-1]		[3]		(2)÷(3]
		堰堤工 (基)			1		0			0		1		0
		事業費(億円)			2.0		0.2		1	0	4.8	8		4
		工事費			1.7		0.0			0	4.	5		0
		用補	費		0.1	-	0.0			0	0.	1		0
		その)他		0.2	(0.2		10	0	0.3	2		100
		【施丁済&	【施工済みの内容】											
		・なし												
進	2) 未着手													
抄	又は長	るため。		-						,				
況	期化の	3 ,2370	'											
及び	理由													
見	3) 今後の	「 阳宇西日	<u></u>											
込み	ĺ ,													
0 /-	事業進													
		捗 の 見 【今後の見込み】 込み ・地権者に対して継続して用地交渉を行い、同意を得た上で事業を進めていく。												
	込み 											0		
				_	で事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 ずれか(該当する項目に「〇印」を付ける)									
		・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、												
		一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成												
			が見	込まれ	る。									
		B ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後												
		は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要												
	判定													
		因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあ												
				はぼ計画通りの完成が見込まれる。										
		7 ⊤□ → ₹	C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。											
		【理由】		.		o= · · · -			. . = .		—	la II		 :
		今後も用地交渉は継続し、用地問題は解決する見込みであり、計画どおりの完成が見込ま												
		れるため。												
□ 対応方針 														
	継続	中止:上記①~③の評価で一つでもC判定があるもの。												
	小型小りじ	継続:上語	記以外のもの。											

Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象(事業完了後5年目) □対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

_

【主な評価内容】

・砂防堰堤や保全対象の状況から事業効果を確認する。